

徳島県立総合看護学校

住所 〒770-0046 徳島県徳島市鮎喰町2丁目41番地の6

TEL 088-633-6611

FAX 088-633-6628

WEB <https://www.pref.tokushima.lg.jp/kangogakkou/>

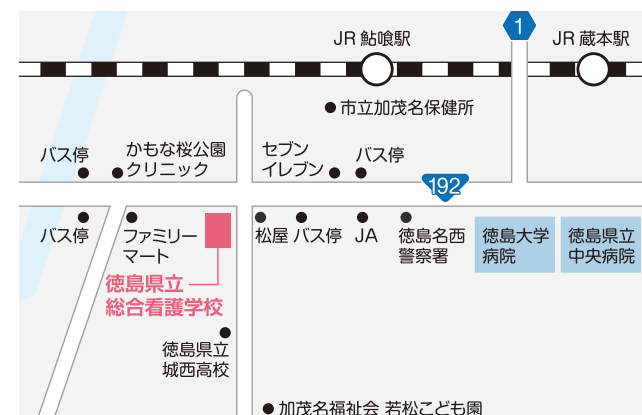
Mail sougoukangogakkou@pref.tokushima.lg.jp

Access 徳島市営バス・徳島バス
・『鮎喰町1丁目』…徒歩2分 ・『上鮎喰』…………徒歩2分

JR徳島線
・『JR鮎喰駅』…徒歩15分



公式WEBサイト▶



徳島県立総合看護学校

Tokushima Prefectural School of Nursing



思いやりと技術が融合する学び舎で
心のこもったケアのプロへ

SCHOOL GUIDE 2026

徳島県立総合看護学校
学校案内パンフレット

ABOUT

徳島県立総合看護学校について



教育理念

県民に安全で安心な保健・医療サービスを提供できるよう、看護に関する幅広い能力と豊かな感性を持った質の高い看護職を育成し、地域の保健・医療・福祉の分野に貢献することを目指す。

教育目的

看護の専門職として必要な知識・技術・態度を教授し、社会に貢献しうる看護の実践者を育成する。



地域社会に求められる人材育成を目指し、さらに進化し続ける看護職養成校

本校は、3学科からなる県内最大規模の看護職養成校であり、平成23年4月に開校以来、高い教育理念・教育目的・教育目標を掲げ、地域に根ざし、保健・医療・福祉におけるチームの一員として看護の専門性と責任を持ち、多職種と協働・連携できる看護職を養成しています。これまで2,194人の卒業生を県内医療機関等へ送り出しています。新興感染症への対応、少子高齢化による地域医療ニーズの多様化など、医療現場を取り巻く環境は常にめまぐるしく変化しています。本校は常に一歩先を見据え、進化を続けていきます。



教育目標

- 1 対象者を生活者の視点で捉え、看護できる能力を養う。
- 2 科学的根拠に基づき安全・安心な看護ができる能力を養う。
- 3 チームの一員としての看護の役割を理解し、実践・調整する能力を養う。
- 4 専門職として生涯学び続け、自己研鑽する態度を養う。



START!

HOW TO

看護師になるまでの歩み

Q. あなたは高校等卒業以上ですか？それとも中学校卒業以上ですか？

A. 高校等卒業以上

A. 中学校卒業以上

第一看護学科では
入学者のほとんどが
高校新卒者！

准看護学科では
幅広い年齢層の学生が
共に学んでいます！

3年課程
第一看護学科

2年課程
准看護学科

准看護師（都道府県知事試験合格）

第二看護学科では
准看護師から看護師への
移行教育を行います

高校等卒業
または実務経験3年以上

2年課程（昼間定時制3年）
第二看護学科

看護師（国家試験合格）

1年課程
助産師学校養成所

1年課程
保健師学校養成所

3年次編入等
看護系大学

看護教諭
養成機関

保健師国家試験・助産師国家試験合格
保健師・助産師

養護教諭

※高校等：高等学校、中等教育学校の後期課程

看護師養成所3年課程

第一看護学科

看護師国家試験合格率

令和6年度 **97.6 %**
令和5年度 **97.4 %**
令和4年度 **97.6 %**



第一看護学科 寒川 葵

僕はイレギュラーなことが起こっても瞬時に最善の行動が取れる看護師を目指しています。そのような看護師になるため、授業ではその日受けた授業内容をその日中に理解できるように集中して受けたいと考えています。病院実習では受け持つ患者さんには、安心して身を任せてもらえるような挨拶をはじめ、何かを行う前に確認をとるといったことを徹底して行い、患者さんが心地よい看護と思えるような看護を提供できるようになりたいです。

第一看護学科 谷畑 実空

患者さんに寄り添い、一人ひとりに応じて適切な対応ができる看護師になりたいです。3年間で看護の専門的な知識や技術をしっかり身に付け、学校や実習でのコミュニケーションを大切に、仲間とともに助け合いながら成長していきたいです。また、患者さんや患者さんのご家族との信頼関係を築き、心と体の両面を支え、患者さんが安心して療養できる環境づくりにも努めていきたいです。

第一看護学科 大黒 桜彩

患者さん一人ひとりに寄り添い、心身ともにサポートできる存在になりたいです。看護学校で、専門的な知識と技術をしっかりと身につけることはもちろん、思いやりの心やコミュニケーション力も大切に、臨地実習を通して多くの経験と学習を積み、3年間でたくさんの学びを得たいです。

「真実を求め、愛に生きる」

私たちは「真実を求め愛に生きる」という言葉を大切に、日々看護を学んでいます。看護の専門性を高めるためには、知識と技術を向上させるよう努めること(真実を追求する姿勢)、対象の立場を尊重し、心身の苦痛を軽減するように信頼関係のもと援助をする(愛に生きる)ことを実践できるように仲間と共に学びを深めています。先生方からは熱心にご指導を頂き、一人一人に応じた支援をしてもらえます。同じ目標に向かって共に歩む仲間と看護観を共有し、互いに固め合うことができる3年間は人生の大きな糧となります。ぜひ、一緒に夢を実現させましょう。

基本情報

定員	120名(各学年40名)
修業年数	3年
受験資格	高等学校卒業以上
特徴	✓ 入学者のほとんどが高校新卒者 ✓ 公的病院への就職多数 ✓ 保健師や助産師も目指せる

奨学金

- ✓ 独立行政法人日本学生支援機構奨学金
- ✓ 高等教育修学支援新制度
- ✓ 徳島県保健師・助産師・看護師及び准看護師修学資金
- ✓ 専門実践教育訓練給付金 等

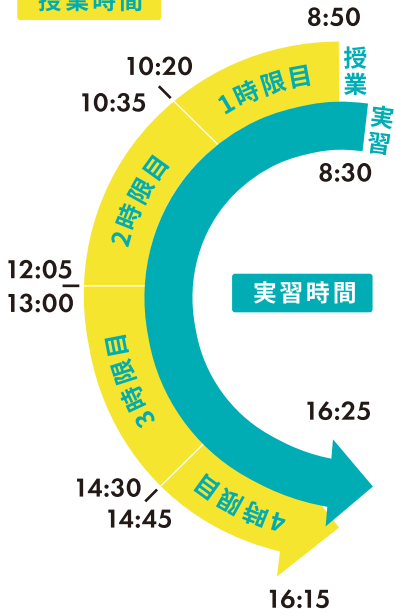
費用

✓ 3年間で総額160万円程度	
入 学 金	12万円
教 材 費	3年間で12万円程度
授 業 料	年間26万4千円
教科書代	3年間で23万円程度
その他	傷害保険料・健康診断料・国家試験・模擬試験料・タブレット通信料等、3年間で26万円程度

進路

就職	徳島県病院局・徳島大学病院 徳島赤十字病院・徳島市民病院・ 徳島県内個人病院・関西圏の 公的病院 等
進学	愛媛大学 医学部 看護学科 3年次編入

授業時間



第一看護学科のカリキュラムとは？

第一看護学科は、3年間で看護師を養成している学科です。1年次では基礎分野の科目で看護における科学的思考力と倫理的感性を伸ばし、専門基礎分野の科目で人体を系統立てて理解し、健康や障がいの状態に応じた社会資源を活用できる基本的な能力を養います。また専門分野の科目で看護とは何かを学習していきます。それと並行して、様々な看護技術を身につけるとともに、地域で暮らす人々の生活を理解することをねらいとした実習を行います。その後、多様な場での看護実践ができるように2年生から3年生にかけて段階的に看護を学んでいきます。

基礎分野

人間の生活・社会の理解 心理学、家族社会学、教育学、保健体育、情報科学、情報科学演習、英語、人間関係論、阿波の探求、阿波の文化と世界の文化	科学的思考の基盤 倫理学、論理学、統計学、人間工学
---	-------------------------------------

専門基礎分野

疾病の成り立ちと回復の促進 薬理学、病理学、疾病と治療Ⅰ、疾病と治療Ⅱ、疾病と治療Ⅲ、治療論、微生物学、新興感染症、臨床判断の基礎	人体の構造と機能 解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、解剖生理学Ⅲ、解剖生理学Ⅳ、生化学、栄養学、食と健康
健康支援と社会保障制度 公衆衛生学、社会福祉の基礎知識、社会保障制度の実際、関係法規、総合医療論、保健指導論	

臨地実習

基礎看護学実習Ⅰ～Ⅲ、地域・在宅看護論実習、成人・老年看護学実習Ⅰ～Ⅳ、老年看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習、精神看護学実習、看護の統合と実践実習

専門分野

基礎看護学 看護学概論、看護の理論、コミュニケーション、フィジカルアセスメント、看護過程の基礎、生活を整える技術Ⅰ、生活を整える技術Ⅱ、診療の補助技術、臨床判断演習Ⅰ、臨床判断演習Ⅱ、看護研究の基礎	地域・在宅看護論 地域の暮らしと看護、在宅家族看護論、ケアマネジメント、在宅療養を支える技術、在宅経過別看護、在宅看護過程の展開
母性看護学 女性のライフサイクルと看護、女性の健康論、妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護、女性の健康問題に対する看護	老年看護学 老年期にある人の健康、高齢者の日常生活援助、高齢者のヘルスアセスメント、高齢者の健康状態に応じた看護
小児看護学 小児看護学概論、小児特有の疾患・看護、小児の健康状態に応じた看護、小児看護の実践	成人看護学 成人期にある人の健康、急性期にある人の看護、回復期にある人の看護、慢性期にある人の看護、終末期にある人の看護、成人看護過程の展開
精神看護学 精神看護学概論、患者・看護師関係と看護、精神症状の理解と治療・看護、精神看護の実践	看護の統合と実践 災害看護・グローバルヘルス、医療安全、看護管理と研究の実践、看護技術統合演習

MESSAGE



多様な看護の場で実践できる力を身につけよう

少子高齢化が一層進む中で、看護師の活躍する場は医療機関から在宅・地域へと広がっています。その中で、看護師に必要とされる能力は、相手の立場に立ち、価値観を理解し、看護を実践できる事です。第一看護学科では、地域の特色や暮らす人々の生活や価値観を学ぶ科目があります。また、様々な学校行事・クラス活動を通し他者と協働、連携する力を育みます。私たち教員は皆さんの学びをサポートし、その時を大切に関わりしたいと思います。さあ、私たちと一緒に看護を創造し、実践してみませんか。皆さんをお待ちしております。

第一看護学科 副学科長 雨堤 京子



看護の道へチャレンジしましょう

第一看護学科は、3年間で看護に必要な知識・技術・態度を身につけ、地域社会に求められる看護師を育成しています。本学科では、地域で暮らす人々の健康を守る力を養うための主体的な学びとなるようなカリキュラムとなっています。臨地実習では、医療の専門職から実践的な知識を学びチーム医療における看護師の役割を身につけていきます。実習での患者さんとの出会いは、皆さんにとってかけがえのない学びとなります。3年間の学習を通して自分自身と向き合い、自らの成長を実感できるよう、私達教員は皆さんを支援していきます。自分の可能性を信じて、看護の道へチャレンジしませんか。

第一看護学科 学科長 四宮 洋子

第二看護学科

看護師国家試験合格率

令和6年度 **89.5 %**
令和5年度 **100 %**
令和4年度 **100 %**



第二看護学科 二條 菜穂

私は学校に通いながら週2日准看護師として働いています。仕事と学業を両立することは決して楽ではありませんが、理想の看護師を目指して日々勉強に励んでいます。准看護師の仕事を通じてコミュニケーション技術が向上し、そして授業で学んだ知識が実際の現場で活かされるか実感でき、より深く理解することができます。また、学校生活では、年齢を問わず互いに刺激を受けながら成長でき、共に看護師を目指す環境が整っています。先生は学生一人ひとりに寄り添い丁寧な指導をしてくださり安心して学校生活を送ることができています。

第二看護学科 清水 彩

私は病院で准看護師として働きながら学校に通っています。学校生活は講義以外にも、学生祭の運営や企画があります。参加することで、協調性を身につけることができ、看護師としての知識や技術以外に人として成長することができます。また、防災訓練や様々な講演を通し、災害時の対応など今後も必要とされる幅広いスキルを学ぶことができます。育児や仕事をしながらの学校生活に不安を感じていましたが、同じ環境の仲間も多く先生方が学生の環境や不安の相談に乗ってくれ、アドバイスやサポートをしてくださいます。皆さんも私たちと一緒に看護師を目指して頑張りましょう。

第二看護学科 宮本 涼

学校は週3日登校であるため、それぞれが自分のペースで学びながら学業とアルバイトなど両立することができます。また、先生方は一人ひとりの家庭環境や状況を配慮して、サポートしてください。将来は精神医療の現場に携わり、患者さんそれぞれの心に寄り添った看護を提供し、精神的な困難に立ち向かう人々を支援できる看護師になりたいです。卒業までに実習や授業を通して看護師として必要な関わり方を学びたいです。安心して夢を追いかける環境で、看護師を目指して、一緒に頑張りましょう。

「更なるキャリアアップを目指して」

准看護師の資格を持ち働きながら学ぶことにより気付くことがたくさんあります。例えば、患者さんとの信頼関係の大切さです。「自分らしい生活ができるようになってほしい」その気持ちだけでは患者さんと私たちの距離は縮まりません。伝わってはじめて患者さん自身が自分らしさや希望を表現するのではないかと思います。簡単なことではありませんが少しでも患者さんの気持ちに寄り添えるように、仲間とともに成長していきたいと思っています。

■ 基本情報

定員	300名(各学年100名)
修業年数	3年
受験資格	准看護師免許取得者
特徴	✓ 准看護師から看護師への移行教育を行う課程 ✓ 週3日間の登校のため働きながら学ぶことが可能 ✓ 卒業生の9割は県内に就職し公的病院や民間病院へ就職

■ 奨学金

- ✓ 独立行政法人日本学生支援機構奨学金
- ✓ 高等教育修学支援新制度
- ✓ 徳島県保健師・助産師・看護師及び准看護師修学資金
- ✓ 専門実践教育訓練給付金 等

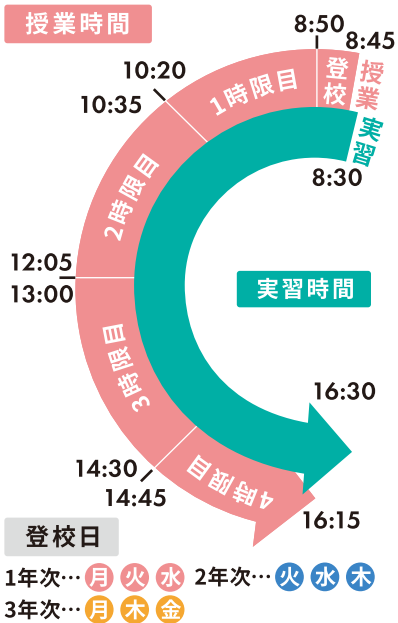
■ 費用

✓ 3年間で総額110万円程度

入学金	6万円
教材費	3年間で5万円程度
授業料	年間16万8千円
教科書代	3年間で16万円程度
その他	傷害保険料・健康診断料・国家試験・模擬試験料・タブレット通信料等、3年間で27万円程度

■ 就職

- ✓ 徳島大学病院
- ✓ 徳島県病院局
- ✓ 徳島市民病院
- ✓ JA徳島厚生連
- ✓ 国立病院機構とくしま医療センター東病院
- ✓ 徳島赤十字ひのみね医療療育センター
- ✓ 徳島県内の民間病院 等



第二看護学科のカリキュラムとは？

第二看護学科では、准看護師教育の2年間で踏まえ、3年間を通して看護師になるための学習をします。基礎分野では、科学的根拠に基づいた知識・技術・態度の基盤を形成します。専門基礎分野では、看護学の視点から人体を系統的に理解し、看護実践の基礎を学びます。専門分野では、対象者の健康状態に応じて、生活を支えられる看護実践ができるような知識、技術を学びます。また、チーム医療、多職種連携について学習し、卒業後臨床現場で実践・調整できる能力を養います。臨地実習では、看護の理論と実践を結び付けて、看護の基礎的能力を養えるように学習を深めます。

■ 基礎分野

人間の生活・社会の理解 論理学、教育と人間関係、社会学、医療英語、健康とスポーツ	科学的思考の基盤 情報科学Ⅰ(基礎)、情報科学Ⅱ(応用)、人間工学
---	--------------------------------------

■ 専門基礎分野

人体の構造と機能 健康支援と社会保障制度 公衆衛生、社会福祉、関係法規、健康と暮らし	疾病の成り立ちと回復の促進 薬理学、微生物学、病理学、疾病論Ⅰ、疾病論Ⅱ、疾病論Ⅲ、疾病論Ⅳ
--	---

■ 臨地実習

基礎看護学実習 地域・在宅看護論実習 成人・老年看護学実習 老年看護学実習	小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習 看護の統合と実践実習
--	---

■ 専門分野

基礎看護学 看護学概論、看護過程、基礎看護技術、基礎看護援助論、看護倫理、看護研究の基礎	小児看護学 小児期にある人々・小児特有の疾患と治療と看護、小児の成長、発達と家族を支援する看護
地域・在宅看護論 地域で暮らす人々Ⅰ、地域で暮らす人々Ⅱ、暮らしの場における看護援助技術、地域で暮らす人々を支えるシステムとマネジメントⅠ、地域で暮らす人々を支えるシステムとマネジメントⅡ	母性看護学 母性看護学概論、妊娠・分娩・新生児の生理周産期各期の看護援助論
成人看護学 成人期にある人々、急性期、終末期看護援助論、慢性期・回復期看護援助論	精神看護学 精神看護学概論、精神疾患の治療と看護、精神臨床看護
老年看護学 老年期にある人々、高齢者の自立を支える看護、高齢者援助論	看護の統合と実践 看護管理と医療安全、災害看護、卒業研究、臨床看護技術Ⅰ、臨床看護技術Ⅱ

MESSAGE



人との関わりを大切に

いのちに寄り添い人の心に触れる看護は、知識と技術だけではなく、思いやりや誠実さが求められる尊いものです。感動や喜び、悩みや迷いのひとつひとつが経験であり、皆さんの成長につながっていきます。自分らしい、なりたい自分に近づけるよう、学習面・メンタル面でサポートしていきます。専門知識、技術、人として豊かな感性を身につけ、信頼され必要とされる存在を目指して「もう一歩先へ」一緒に学んでいきましょう。

第二看護学科 副学科長 寄鐘 恵子



第二看護学科で新しい一歩を

第二看護学科は、看護師を目指し准看護師として働きながら学べる週3日間(昼間)の進学コースです。様々な年齢やバックグラウンドをもつ学生が協力し合い、共に成長していくことができます。働きながら学ぶことは大変なこともあります、その分、得られるものや卒業時の喜びも非常に大きいです。卒業後に、社会に貢献できる実践能力のある人材育成を目指しています。看護師としてのキャリアを目指す皆様、ぜひ第二看護学科で新しい一歩を踏み出してください。あなたの挑戦を心からお待ちしています。

第二看護学科 学科長 小川 昌子

准看護師試験合格率

令和6年度 **100%**

令和5年度 **100%**

令和4年度 **98.4%**



准看護学科 1年 西本 怜

准看護学科では、高校を卒業したばかりの学生や社会人など、様々な年齢の方が学習に取り組んでいます。僕自身は、社会人からスタートしました。入学する前は不安だらけでしたが、学生生活が始まると、毎日新しい発見があり、出会いにワクワクとドキドキを感じます。困った時は、クラスメイトはもちろん、先輩方や先生方も相談に乗ってくれます。皆さんも僕たちと一緒に誰かに寄り添えるような准看護師を目指してみませんか。その大きな一歩を踏み出した僕達に幸あれ。

准看護学科 1年 杉原 菜月

准看護学科では、幅広い年代の学生が学んでいます。私は、社会人経験を経て入学しましたが、最初は年齢の差や学び直しへの不安がありました。しかし、同じ目標を持つ仲間と出会い、励まし合いながら学ぶことで、少しずつ自信が持てるようになりました。演習では、患者さんに対する関わりを学び、看護のやりがいや責任を実感しています。今後は、患者さんの立場に寄り添い、安心してもらえる准看護師を目指して、努力していきたいです。

准看護学科 1年 松下 日菜乃

准看護学科では、子育てや仕事をしながら准看護師を目指す学生がいます。幅広い年齢層の学生と共に学ぶことができるので、グループ学習やディスカッション、演習などを通して、知識や経験を共有し、協力し合いながら充実した学生生活を送ることができます。また、看護の知識や技術だけでなく、患者さんの気持ちに寄り添う大切さも学んでいます。将来は、信頼される准看護師になれるよう頑張りたいです。

「社会人でもチャレンジ、子育てをしながら学べる」

准看護学科では、幅広い年齢層の学生が共に学んでいます。社会人として働いていた人も多く、子育てをしながら勉強に取り組んでいる人もたくさんいます。年齢、生活背景の違いを超えての学生同士の交流や、実習先での多くの出会いは、私たちを大きく成長させてくれます。また、卒業後に進学・就職という二つの選択肢を持てることも准看護学科の大きな魅力です。様々な背景を持つ学生が、同じ目標に向かう仲間として励まし支えながら日々頑張っています。

准看護学科のカリキュラムとは？

1年次、2年次をとおり、基礎分野で幅広い教養を身につけ、豊かな人間性を養います。そして、専門基礎分野の人体のしくみや疾病の成り立ちを中心に、看護が科学的根拠に基づいて行うことを学びます。また、専門分野では看護についての考え方を学習し看護実践に必要な知識・技術・態度を2年間で学びます。臨地実習では、原理原則に基づき対象者に応じた方法で援助技術を深めます。

■ 基本情報

定員	240名(各学年120名)
修業年数	2年
受験資格	中学校卒業以上
特徴	✓ 10代～50代までの幅広い年齢層 ✓ 卒業生の多数は進学し、看護師資格を取得 ✓ 就職先のほとんどが県内の民間病院等 ✓ 高い准看護師試験合格率(関西広域連合准看護師試験)

■ 奨学金

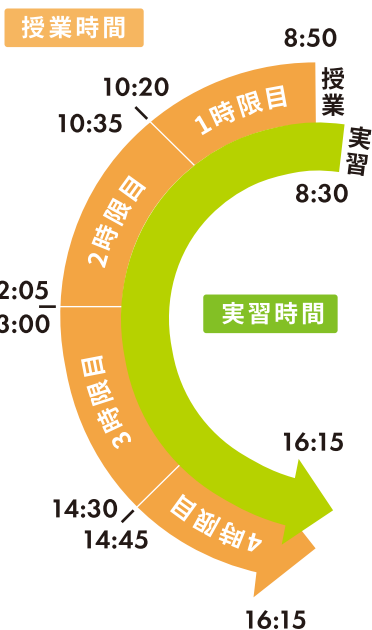
- ✓ 徳島県看護師等修学資金貸与制度
- ✓ 徳島県医師会看護師等修学資金 貸与制度
- ✓ 徳島県奨学金(県教育委員会)
- ✓ 高等学校等就学支援金制度

■ 費用

✓ 2年間で総額65万円程度	
入学金	6万円
教材費	2年間で6万8千円程度
授業料	年間16万8千円
教科書代	2年間で5万8千円程度
その他	傷害保険料・健康診断料・准看護師試験・模擬試験料等、2年間で11万円程度

■ 進路

就職	徳島県内の民間病院等
進学	徳島県立総合看護学校 第二看護学科 等



■ 基礎分野

論理的思考の基盤 論理的思考の基礎、ICTの基礎と情報管理	人間と生活・社会 人間と生活、地域社会、看護の場における英語
---	--

■ 専門基礎分野

人体の仕組みと働き 栄養 栄養 薬理	疾病の成り立ち 疾病の成り立ちⅠ、疾病の成り立ちⅡ、疾病の成り立ちⅢ 保健医療・福祉の仕組み 看護と法律 看護と法律
------------------------------------	---

💡 専門分野

看護概論 看護概論、看護に必要な倫理	成人看護 成人看護Ⅰ、成人看護Ⅱ、成人看護Ⅲ、成人看護Ⅳ
基礎看護技術 こころと看護、看護実践の基礎と技術Ⅰ、看護実践の基礎と技術Ⅱ、看護実践の基礎と技術Ⅲ、看護実践の基礎と技術Ⅳ、看護実践の基礎と技術Ⅴ、看護実践の基礎と技術Ⅵ、看護の探求	老年看護 老年看護Ⅰ、老年看護Ⅱ
臨床看護概論 対象に応じた援助Ⅰ、対象に応じた援助Ⅱ	母子看護 母性看護、小児看護
	精神看護 精神看護Ⅰ、精神看護Ⅱ
	臨地実習 基礎看護実習、成人・老年看護実習、母子看護実習、精神看護実習



看護職を目指すあなたを応援します

准看護学科 副学科長 逢坂 めぐみ

准看護学科では、からだの仕組みなどの知識をはじめとして、こころを育てられる科目があります。学習はもちろん大切ですが、病気や悩みを抱えている方に寄り添い、共感し、人の為に何が出来るか考え続けることが大切だと思っています。「あなたが居てくれて良かった」と思ってもらえるような看護職になれるよう、私たち教員は皆さんと一緒に考え学生生活をサポートしていくことが使命だと思っています。新卒の方も社会人経験のある方もしっかり支援していきます。



これまでの歩みを、これからの看護へ

准看護学科 学科長 高橋 弥寸子

准看護学科では、今年度より一般入試に加え、社会人入試を新たに導入します。これまでの職務経験や人生経験を活かし、看護職としてあらたな一歩を踏み出したいと考えている皆様を、心より歓迎いたします。多様な背景を持つ学生が学び合える環境を提供しています。年齢や経歴に関係なく、看護の道を志す皆さまの挑戦を、私たちは全力でサポートいたします。

Many graduates are active in the medical field.

卒業生紹介

本校から看護の道へと進んだ先輩ナースから
これから看護を志すあなたへ

毎年、多くの看護師が誕生している徳島県立総合看護学校の卒業生をご紹介します。徳島県内外の病院で医療に貢献する先輩看護師から、これから看護の道を志すあなたへのメッセージです。



たくさんの経験と
出会いを大切に

Ns. OSHIMA

私は呼吸器内科、消化器内科、循環器内科の患者さんを受け入れる内科病棟に勤務しています。結核を含む感染症病棟もあり長期間の入院を余儀なくされ、感染対策のため面会が制限される患者さんもあります。ストレスや不安の緩和ができる関わりを意識し日々看護を行っています。また、慢性疾患を抱えた高齢患者さんが多く、退院後に症状が悪化しないように家族を含めた指導を行っています。医療と介護の連携を図り、住み慣れた地域でその人らしく生活できるよう支援しています。3年間という短い学生生活において日々の座学や演習、実習の中では大変なことも多いですが仲間と切磋琢磨し様々なことに挑戦した経験は自分を大きく成長させてくれました。また、先生方はいつも親身に相談に乗ってくださり看護師国家試験合格に向けて学習環境を全力でサポートしてくださりました。私自身この充実した環境下で学び、看護師としての第一歩を踏み出すことができてよかったです。ぜひ、徳島県立総合看護学校でたくさんの人と出会い様々な挑戦を充実した学生生活を送ってください。皆様と一緒に働ける日を楽しみにしています。

2023年3月 第一看護学科卒 徳島県病院局 大島 三奈

信頼できる仲間と共に

徳島県立総合看護学校では実践的な技術や知識を身につけることが出来、学ぶための環境が整っています。技術確認などの際には協力し練習をしたり、実習では励まし合い課題を乗り越えたり、優しく相談ののってくださる先生方もたくさんいます。看護師は大きな責任と、学び続けなければならない職業ですが、たくさんのやりがいを感じることでできる職業でもあります。看護師までの道のりは実習や国家試験勉強で大変なこともあります、信頼できる仲間とともに頑張ってください。ぜひ、当校へ、応援しています。

2023年3月 第一看護学科卒 徳島赤十字病院 福井 未里

Ns. FUKUI



口から食べる幸せを感じてもらうために
摂食・嚥下障害認定看護師へ

私は現在、脳神経外科病棟で勤務しています。看護学校を卒業した頃は、患者様に寄り添える看護師を目指していましたが、明確な目標はありませんでした。しかし、意識障害や麻痺、嚥下障害などさまざまな症状のある患者様と関わるうちに、患者様の『口から食べる』に寄り添える看護師になりたいと思い、2022年に摂食・嚥下障害看護認定看護師の資格を取得しました。認定看護師として、一人でも多くの患者様に口から食べる幸せを感じてもらえるよう、多職種と連携を図りながら日々業務を行っています。看護学校では看護の専門的な知識や技術を学ぶ他、看護の道を志す多くの仲間と出会うことができます。コミュニケーションを図り仲間と協力することは、臨床場面でも非常に大切なスキルの一つとなるので、仲間を尊重し合える学生生活を送ってください。また、先生方も何でも親身になって相談に乗ってくれます。3年間は長いようで、あっという間に過ぎていきます。後悔のない学生生活を送り、国家資格を取得してください。看護師として共に働ける日を心待ちにしています。

2015年3月 第二看護学科卒 JA徳島厚生連 吉野川医療センター 野田 昭

Ns. NODA



患者様に寄り添った
退院支援を目指して

Ns. YAGAMI

私は現在、患者支援センターの看護主任として勤務しています。病棟での経験を生かし、退院支援やベッドコントロール、入院の調整等を行っています。患者様の中には、疾患によるADLの低下が予想され、退院後、以前と同様の生活を継続することが困難な方もいらっしゃいます。退院支援では患者さまやそのご家族に、早期から介入させていただき、寄り添いながら対話することを大切にしています。また院内外での他職種と連携を図り、ご希望に添った退院支援に繋がっています。患者さまから感謝の言葉を頂いた時は、本当に嬉しくやりがいを感じています。私にとって、臨床実習でのたくさんの学びが今の看護観に繋がっています。ひとつひとつの実習を大切に、積極的に患者さまや実習先の看護師とも関わって欲しいと思います。

2017年3月 第二看護学科卒 医療法人倚山会 田岡病院 家神 友加里

Ns. MATSUMURA

出会いを大切にした学校生活を

私は、准看護学科を卒業後に、在宅生活を送る高齢者とそのご家族の支援をさせていただき、看護事業所へ就職しました。現在は在宅生活での支援において必要な看護技術の習得のために、当事業所と親交のある訪問看護ステーションで「新卒・新人訪問看護師育成プログラム」に沿った研修を受けています。研修を受ける中で、本校で身につけた知識や技術は現場ですぐに必要なものであると実感しています。患者さんに必要な看護が患者さんの望む場所・型式で受けられるように、本校で身につけた知識と技術をさらに深めてブラッシュアップしていきたいと考えています。

2022年3月 准看護学科卒 有限会社 真商事 あおぞら内科
訪問看護ステーション 松村 真



1DAY SCHEDULE



8:35

登校

授業開始25分前に学校へ到着！
少し早めに来て授業の準備をしています。



8:50

授業開始

1時限目は教室で看護に必要な授業を受けます。



10:35

2時限目

医療現場における実践的な対応について考えます。



12:05

昼休み

休憩中に友達と授業の復習！
休憩中もランチミーティング！意見交換も大切！



14:45

演習

午後からは演習がスタート！
講義の学びを実践します！



16:15

下校

帰宅後は、明日の予習などを行っています。
振り返り・明日の準備にも余念なく！

1年間のイベント

1YEAR EVENT

入学式

4月には入学式。ここから
学校生活と看護の道の
第一歩が始まります。

April

オープンキャンパス

様々なイベント、学内ツアー
などで学校のことを知って
もらいます！

July

学生祭

普段関わりのない人たちとも
交流の輪を広げられる機会
です！

September

施設研修

関連施設の見学に行って
疾病について勉強します！

October

看護学生研究発表

今までの実習から事例研究として
まとめたものを発表します。

December

卒業式

看護学校で学んだことを
活かして、それぞれの未来が
スタートします。

March

野外研修

クラス間の親睦をはかり、
協調性を養います。
〈技の館にて〉

May

防災訓練

非常時・災害時に備えた
訓練もしっかりと行なって
いきます。

June

フィジカルアセスメント

夏休み中にも自主演習と
してフィジカルアセスメント
を行う学生もいます！

August

看護観発表会

臨地実習を通して自分の
考える看護観を発表します。

November

ICT交流会

他校の看護学生との交流
を通して、自分の看護観を
確かめ合います。

January

卒業特別講演

講師の講演を通して、
価値観や感性を磨き、
看護を深めます。

February

施設紹介



看護職育成の施設として様々な学習、
実習に対応する設備を備えています。

5階建の本館には、教室や実習室はもちろん、図書室、体育館、男女更衣室など
学校生活・学習に必要な環境が整っています。また、新館では大人数を収容
できる合同講義室や、カウンセリングルームなどが備わっています。
各教室には、遠隔授業等を行うためのICT設備等の環境が整っています。

エントランス



広々とした玄関にはナイチンゲール像もあります。

図書室



基本的な書物から専門書まで様々な分野の
文献を多く所蔵しています。

教室



明るく清潔で広い教室です。こちらで講義が行われます。

家庭看護実習室



家庭での看護を想定した実習室もあります。

体育館・講堂



体育や様々なイベントもこちらで行います。

実習室



広々とした実習室には様々な演習を
行うことができる設備が備わっています。

ICT設備



専門システムを用いたICT設備を備えています。

視聴覚・情報処理室



大型スクリーンと音響を備えています。

カウンセリングルーム



個室でゆっくりカウンセリングが可能です。

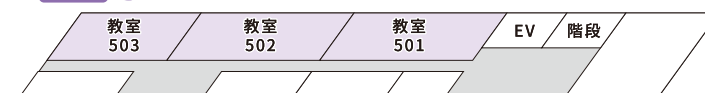
ハイブリッド・シミュレーター



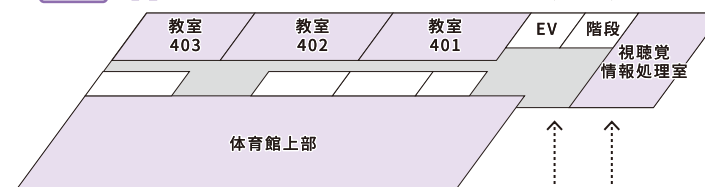
様々な症状を想定したフィジカル
アセスメントのトレーニングを行います。

フロアマップ

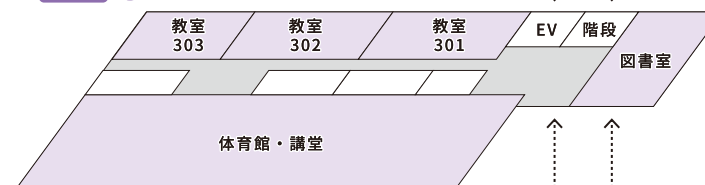
本館 5F



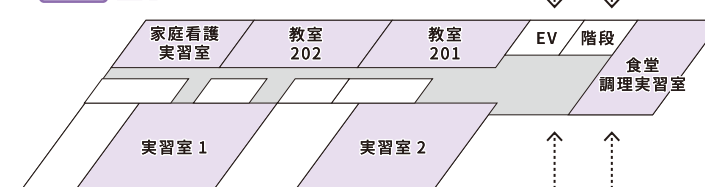
本館 4F



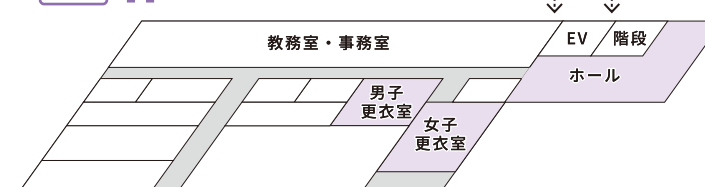
本館 3F



本館 2F



本館 1F



渡廊下 (▼新館)

新館 2F



新館 1F



カウンセリング
ルーム

合同講義室
101

小会議室
面接室

渡廊下 (▲本館)